

needs 倉庫や工場内の物流を効率化したい

Bluetooth を活用した発信機「Beacon」とスマートフォンでフォークリフトの稼働実態を可視化し、運用効率を改善

会社名 : 株式会社ジェーエムエーシステムズ
事業内容 : エンタープライズ・アプリケーション ソリューション等
従業員数 : 396名
所在地 : 東京都港区海岸 1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー 18F

URL : <https://www.jmas.co.jp/>
連絡先 : 03-3431-4583
mkt-contact@jmas.co.jp

背景

- 倉庫や工場内で、フォークリフト等運搬機器の稼働状況を把握できれば、点検コストの削減や生産性の向上が図れる。
- 敷地内をドライバーの判断で自由に走行するため、実際にどのような積載、運搬を行っているのか不明。
- 積載、運搬方法はドライバーの経験値に任されている。

→実態把握が難しい。

稼働実績データの
収集は困難

IoT を活用した課題解決の内容

<サービス概要>

Beacon とスマートフォン等のスマートデバイスを活用し、製造、物流、工事などの現場作業における人やモノの動きを簡単に可視化、作業効率化や最適配置などに貢献するサービスを提供。

検討・開発期間 : 3ヶ月
開発者 : 自社開発
開発コスト : 非公開

●活用シーン : フォークリフトの動線解析、工場内の作業員行動把握、車輛の所在・待機時間把握 等

<サービス導入事例>

導入先 : ヤンマーキャステクノ株式会社
事業所 滋賀県湖南市、島根県松江市
代表取締役 藤井 登喜男

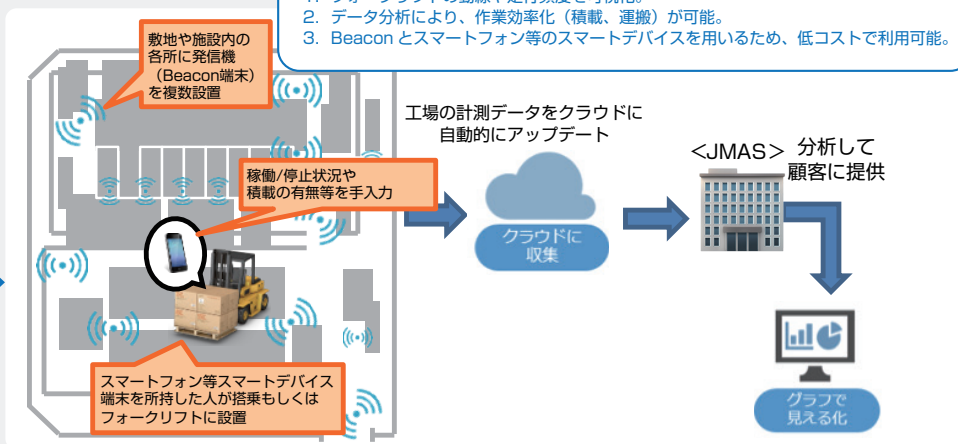
【特徴】

1. フォークリフトの動線や走行頻度を可視化。
2. データ分析により、作業効率化（積載、運搬）が可能。
3. Beacon とスマートフォン等のスマートデバイスを用いるため、低コストで利用可能。

課題

- フォークリフトの稼働実績を定量的に把握したい。
- 人海戦術による定点観測を試みたがうまくいかない。

IoT 活用



導入成果

- 工場内のフォークリフト運用台数を削減 (14台→11台)。
- フォークリフトの平均稼働率が向上 (30%→46%)、平均積載率が向上 (66.1%→68.1%)。

成功したポイント

- 豊富なモバイルアプリ開発経験を活かしたため。

今後の展開予定

- 工場や倉庫等の現場効率化だけでなく、「現場の保全」「現場の安全」「働き方の改革」等のニーズにも対応する IoT 活用製品・サービスの開発に注力する。